

さくらの開花予想（第2回）

（北陸、関東甲信、東海、近畿、中国、四国、九州）

〔概要〕

本年のさくら（ソメイヨシノ）の開花は、東日本・西日本では
平年より早い地点が多い見込みです。

〔本文〕

さくらの開花は、一般的に気温が高いと早まり、気温が低いと遅くなります。今回の予想対象地域の2月の気温は、東日本（北陸・関東甲信・東海）、西日本（近畿・中国・四国・九州）ともに平年よりかなり高く推移し、3月初めも平年より高く推移しました。今後は平年並みか低い可能性が大きいと予報されていますが、これまでの高温の影響で、本年のさくらの開花は、東日本・西日本では平年より早い地点が多い見込みです。

〔参考〕

1. さくらは、夏頃に翌春咲く花のもととなる花芽（かが）を形成し、休眠に入ります。花芽は冬の低温に一定期間さらされると休眠から覚めます（休眠打破）。花芽は休眠打破のあと気温の上昇とともに生長し開花します。
さくらの予想開花日は、過去の開花日と気温のデータから予想式を作成し、これに、昨年秋からの気温経過と気温予報をあてはめて求めています。なお、気温予報には週間予報、1か月予報及び3か月予報を用いています。
2. 開花とは花が5～6輪開いた状態のことです。さくらの開花は、一般的に標高が100m高くなるごとに約2～3日遅くなります。
また、ソメイヨシノの開花から満開までの期間は、今回発表した地域では約1週間です。なお、満開とは、花芽の約80%以上が開花した状態のことです。
3. さくらの開花を平年値（1971年～2000年の30年間の累年平均値）と比べる場合、「平年並」とは平年値との差が2日以内、「早い（遅い）」とは平年値より3日以上早い（遅い）ことをいいます。なお、「かなり早い（遅い）」とは平年値より7日以上早い（遅い）ことをいいます。
4. 開花予想は、各气象台や測候所の定めた標本木を対象としたもので、名所の開花とは異なることがあります。また、予想開花日には平均して前後2～3日程度の誤差があります。

資料1：2007年の各地のさくらの予想開花日（3月14日発表）

資料2：2007年のさくらの開花予想の等期日線図（3月14日発表）

今後のさくらの開花予想の発表は下表のとおりです。いずれも14時に発表する予定です。

	北陸～九州	東北	北海道
第3回（3月20日）	○	○	
第4回（3月28日）		○	
第5回（4月4日）		○	
第6回（4月11日）			○
第7回（4月18日）			○
第8回（4月25日）			○

問い合わせ先：観測部計画課情報管理室 応用気象情報係
電話：03-3212-8341（内線4228）

資料1 2007年の各地のさくらの予想開花日(3月14日発表)

地点	予想 開花日	平年 開花日	平年 差	前年 開花日	前年 差
【北陸地方】					
新潟	4 4	4 11	-7	4 11	-7
高田	4 4	4 10	-6	4 12	-8
相川	4 7	4 13	-6	4 12	-5
富山	4 3	4 8	-5	4 7	-4
金沢	4 1	4 6	-5	4 6	-5
輪島	4 6	4 11	-5	4 12	-6
福井	3 31	4 5	-5	4 5	-5
【関東甲信地方】					
東京	3 23	3 28	-5	3 21	+2
水戸	3 25	4 4	-10	3 30	-5
宇都宮	3 28	4 3	-6	3 29	-1
前橋	3 28	4 1	-4	3 28	0
熊谷	3 24	3 31	-7	3 27	-3
銚子	3 31	4 1	-1	3 25	+6
横浜	3 22	3 28	-6	3 21	+1
長野	4 6	4 14	-8	4 15	-9
松本	4 5	4 12	-7	4 12	-7
甲府	3 24	3 29	-5	3 24	0
大島	3 28	3 30	-2	3 20	+8
三宅島	3 31	3 29	+2		
八丈島	4 8	4 2	+6	3 19	+20
【東海地方】					
名古屋	3 23	3 28	-5	3 26	-3
静岡	3 21	3 28	-7	3 17	+4
岐阜	3 24	3 29	-5	3 26	-2
津	3 29	4 1	-3	3 31	-2
尾鷲	3 28	3 28	0	3 23	+5

地点	予想 開花日	平年 開花日	平年 差	前年 開花日	前年 差
【近畿地方】					
大阪	3 26	3 30	-4	3 28	-2
彦根	3 31	4 4	-4	4 6	-6
京都	3 28	3 31	-3	3 27	+1
舞鶴	3 31	4 4	-4	4 5	-5
神戸	3 27	3 30	-3	3 27	0
豊岡	4 1	4 5	-4	4 4	-3
奈良	3 27	4 1	-5	3 29	-2
和歌山	3 27	3 28	-1	3 25	+2
潮岬	3 29	3 28	+1	3 19	+10
【中国地方】					
広島	3 26	3 29	-3	3 22	+4
岡山	3 30	3 31	-1	3 29	+1
松江	3 30	4 3	-4	3 28	+2
浜田	3 27	3 30	-3	3 26	+1
西郷	3 31	4 5	-5	4 4	-4
鳥取	3 30	4 2	-3	4 1	-2
米子	3 30	4 3	-4	4 1	-2
【四国地方】					
高松	3 29	3 30	-1	3 27	+2
徳島	3 28	3 29	-1	3 27	+1
松山	3 25	3 28	-3	3 24	+1
高知	3 24	3 23	+1	3 15	+9
【九州地方・山口県】					
福岡	3 21	3 26	-5	3 23	-2
下関	3 28	3 29	-1	3 25	+3
大分	3 26	3 27	-1	3 23	+3
長崎	3 26	3 25	+1	3 22	+4
厳原	3 26	3 28	-2	3 23	+3
福江	3 29	3 28	+1	3 22	+7
佐賀	3 25	3 26	-1	3 23	+2
熊本	3 24	3 24	0	3 20	+4
宮崎	3 30	3 25	+5	3 18	+12
鹿児島	4 1	3 26	+6	3 20	+12
種子島	3 30	3 27	+3	3 20	+10

(注) 表中の平年差の「+」は平年より遅い、「-」は平年より早い、「0」は平年と同じことを表します。前年差も同様です。

